
風 ～わたしをはこんできたもの～

野鶴善明

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

風　　ゝわたしをはこんできたものゝ

【Nコード】

N 5 4 4 3 K

【作者名】

野鶴善明

【あらすじ】

風がわたしをこの世界へはこんできた

風 わたしの体を吹き抜けて
風 わたしの心を洗い流す
風 わたしの心を透明にして
風 そんな時ふと気づかされる

風 水をゆらして
風 花をゆらして
風 木の葉をゆらして
風 わたしをゆらす

風 がどこから始まるのか
それはだれも知らないけど
たぶん、風はわたしの生まれた
遠いふるさとかから吹いてくる
風はわたしを生んだ
母の吹く口笛

風 わたしの体を吹き抜けて
風 わたしの心を洗い流す
風 わたしの心を透明にして
風 そんな時ふと気づかされる

わたしがなぜわたしなのか
それはだれも知らないけど
きつと、わたしの魂というものは
母の息吹が滴になったものは
わたしは風がはこんできた

母の心の鼓動

風 命をはこび

風 命をはぐくみ

風 命をいつくしみ

風 わたしをここへ連れてきた

風 野原をわたり

風 森をわたり

風 海をわたり

風 わたしをどこへ連れて行く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5443k/>

風　～わたしをはこんできたもの～

2010年10月11日04時39分発行